



広報 みまた

発行・編集 北諸郡三股町総務課 ☎52-1111 発行2月20日 No.264

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめよう。
- 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ

交通安全 今日笑顔でゆずりあい

広報みまた 2月号

おしらせ



確定申告は

お早めに

所得税の確定申告は、二月十六日から三月十六日までとなっております。

所得税は、あなた自身が正しく所得や税額を計算して納税をするという申告納税制度をとっています。

確定申告は、あなたの昨年一年間の事業や収入の総決算ともいえるものです。事業をしている方はもちろん、サラリーマンの方でも確定申告をしなければならぬ方は、できるだけ、早めに申告をお済ませください。

確定申告で、分かりにくい点がありましたら、税務署や税務相談室にお尋ねください。

なお、個人事業者の消費税の申告期限は三月三十一日です。

二月二十二日、三月十四日及び三月二十八日は閉庁土曜日となりますのでご注意ください。

町内の人権擁護委員

- 福重美義 (前目)
- 草留千枝子 (仲町)
- 隈元喜一 (寺柱)
- 轟木秀明 (山王原)

今月の納税 固定資産税 4期

納期限内に納入
しましょう

自衛官募集

- ★職 種 2等陸・海・空士
 - 応募資格 日本国籍を有し、18歳以上27歳未満の男子
 - 身 分 特別職国家公務員
 - 休暇等 有給休暇年間24日、年末年始休暇有、週休2日制(4週5休)
 - その他 各種の資格試験取得の機会有、大学2部・定時制高校への通学や通信教育も可。
- ☆受付試験 逐次受付試験中
詳しくは、役場総務課または自衛隊都城募集事務所へ。
☎二三一三九四四

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしませと共、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

平成三年十二月一日から	平成四年一月三十一日まで
寄付者 続柄 故人名 地区 金額	
飯田 四夫 母 スマ (92) 上米 五万円	
立山 涉 義父 淵脇良夫 (90) 勝岡 三万円	
木下 朝子 夫 国男 (53) 東原 一万円	
桑畑 和彦 妻 八重子 (44) 植木 五万円	
丸目 俊郎 母 恵美 (78) 仲町 二万円	
小浜ツキエ 養父 永田宗太郎 (87) 大野 二万円	
木下 忠儀 義母 綿屋ミチエ (84) 蓼池 三万円	
上西 マス 夫 定二 (81) 上米 三万円	
森 秀一 母 ミナ (81) 下新 三万円	
長尾 一夫 母 フサ (81) 梶山 三万円	
山田 エイ 夫 巖 (81) 植木 五万円	



愛の献血

次のとおり献血にご協力いただきました。
○十二月二十日
役場(来庁者含む)成分献血二一名
○一月二十八日
都城東高校 三八二名
誠にありがとうございます。
今後とも皆様のあたたかいご協力をよろしく願っています。

三股町の人口

平成4年2月1日現在
男 10,173人 出生 30人
女 11,372人 死亡 26人
計 21,545人 転入 77人
前月比+9人 転出 72人
世帯数 7,078戸 (-5戸)

スポーツ少年団

三股サッカー

三股小と三股西小の児童45名が加入。岩崎俊弘監督(36)の指導を受けながら、週4日の練習をこなしています。
日本サッカーのプロ化も間近、この中から明日のスター選手が誕生するかも知れません。

平成4年
/2月号

交通安全運動の成果実る？

三股町内に住んでいる人が昨年一年間に県内で交通事故を起こし、その第一当事者（加害者）となった数は八十九人で、前年の百九人、前々年の百二十四人に比べ大幅に減少。ワースト順位も四十四市町村中七位になり、平成元年から続いていたワースト一位によやく終止符を打ちました。



連続ワースト1位に終止符 一挙に7位へ

過去7年間のワースト表

(7位まで)

年 順位	昭60	昭61	昭62	昭63	平元	平2	平3
1	三股町	山田町	三股町	高城町	三股町	三股町	宮崎市
2	山之口町	都城市	都城市	三股町	都城市	宮崎市	佐土原町
3	高崎町	三股町	宮崎市	山之口町	宮崎市	佐土原町	清武町
4	宮崎市	山之口町	山之口町	都城市	山田町	高岡町	都城市
5	門川町	高城町	山田町	宮崎市	高城町	高城町	高城町
6	都城市	宮崎市	日向市	山田町	清武町	山之口町	新富町
7	佐土原町	佐土原町	高崎町	佐土原町	山之口町	都城市	三股町

ワースト順位は、県内で発生した交通事故のうち、人身事故の第一当事者をその居住市町村ごとに振り分け、人口一万人当たりを換算して数値の高い方から順位をつけるもので、本町は過去十数年間にわたって常に上位を低迷。特に平成元年と二年は連続のワースト一位という不名誉な記録をつくり、ワースト上位からの脱出が交通安全関係者の悲願となっていました。

このため、町交通安全対策協議会（福永昌徳会長）は平成二年十一月、五年間の「わがふるさと交通安全一運動」の実施を決議。以来、「交通安全 今日も笑顔でゆずりあい」をスローガンに、交通安全協会三股支部が主体となって積極的な交通安全運動を展開してきましたが、昨年の実績でワースト七位となり、これまでの努力が実った格好になりました。

しかしながら、依然としてワースト上位にあることに変わりはなく、今後さらに町民一丸となって、事故のない明るい町づくりを挑戦し、今回の順位が単なる偶然でないことを証明したいものです。

四日に一人が死亡

県内の事故

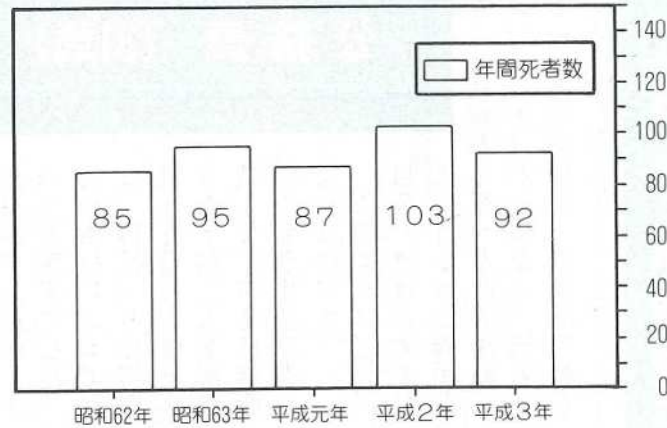
町内でも二人が命失う

昨年一年間に宮崎県内で起きた交通人身事故は四、四三件で、死者数は九二人。一日平均で約二件の事故が発生し、ほぼ四日に一人の割合で尊い命が奪われたこととなります。

三股町内でも昨年、三八〇件の交通事故（人身事故八一件、物損事故二九九件）が発生し、二人の方が亡くなっています。交通事故は決して他人事（ひとごと）ではありません。車社会の中で生活して

いる以上、誰もがその当事者になる危険性があり、いつ「あなた」が加害者に、あるいは被害者になるかわからないのです。そして、例えば加害者になっても、また被害者になっても、「あなた」だけでなく、必ず「あなたの家族」も不幸になるのです。

今一度、交通事故を身近な問題としてとらえ、家族全員で交通安全に取り組んでいきたいものです。



年別死者数の推移

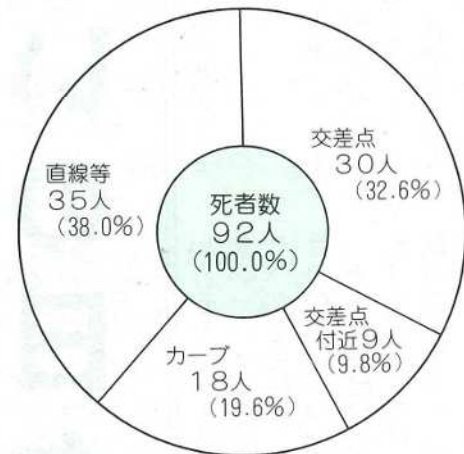


年末にカープミラーの掃除、点検をする蓼池の交通安全役員

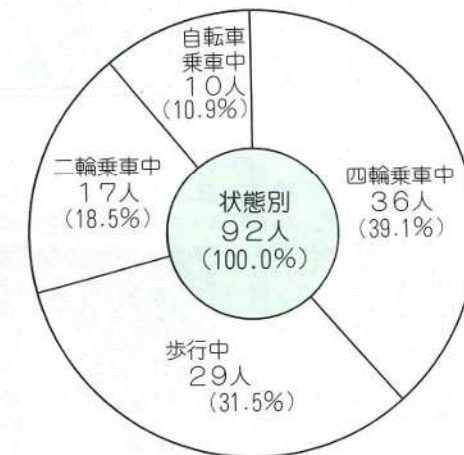
県内の死亡事故

(平成3年1月～12月)

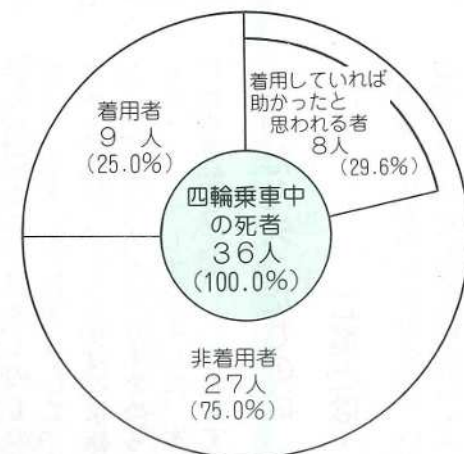
場所別



状態別



シートベルト着用状況



あがな 贖いの日々

私は、いままで事故の恐ろしさというものは十分理解していたつもりでした。

それだけに、常に気をつけて車の運転をするように心掛けていました。また、公務員であるという職務上、飲酒運転などはもちろんしたことはなく、仲間に対しても事故の恐ろしさや経験談などを話しては、飲酒運転などしないように注意する立場でした。

お正月だから

取り締まりは…

そんな私が、なぜ市原刑務所に入らなければならなくなってしまうたかといえますと、あれは、忘れもしません昭和六十二年一月二日のことでした。正月気分が浮かれていた私は、友達の家で酒をたくさんご馳走になって、かなりいい気分になっていました。それから行きつけているスナックに行き、そこに居合わせた友達と一緒に、次の店へ、また次の店へと巡って、飲み歩いておりました。そして、三軒目の店を出たときには、かなり酔いがまわっていました。お正月だから警察の取り締まりなどは行っていないだろう、と

自分勝手な考えから、酔った勢いで、友達に乗って来た軽トラックを運転し、友達四人で四軒目の店に向かったのです。

そんな酩酊状態であった私は、走り出して五分とたたない間に眠ってしまったのです。

私と被害者は

子供のころからの仲よし

気がつくと、車は道路脇に置かれていた工事用のバリケードに衝突し、バリケードを止めていた長さ四メートルくらいの鉄パイプが車の正面に突き刺さり、私の指をもぎ取り、同時に、荷台に乗っていた仲間の一人(当時二十八歳)の腹部を貫通しているではありませんか。

私と被害者は、すぐに救急車で病院に運ばれましたが、結局、被害者は翌日死亡してしまいました。

彼とは、家が近く歩いて五分くらいの場所、また、年齢も一つしか違わないということから、子供のころから仲よく遊んだ間柄で

失った大きなもの

公務員 (31歳)

まさに夢のような出来事でしたが、すべてが現実でした。

この事故によって私は、懲役八月の実刑判決を受け、妻と小さな子供二人を家に残して、市原刑務所での受刑生活を送っているのです。

このように、私の自分だけは大丈夫だというような勝手な考えと判断から行った飲酒運転によって、かけがえない、兄弟ともいえる友を失い、一生の職も

した。何事も相談し合い、ほとんど兄弟同然の付き合いをしていた仲でした。

また、彼は、結婚して半年しかたっていない幸せな新婚生活を送っていた最中でした。そんな彼の尊い命を、私が奪ってしまったのです。

彼が鉄パイプによって串刺しになった姿、また、病院へ運ばれる途中の救急車の中で「腹が痛いよ」「痛いよ」と叫ぶ声が、今でも私の頭の中から離れません。

懲役八月の実刑

判決を受ける

追われ、自分の指、さらには社会的な信用など、数多くのものを失ってしまいました。そして、被害者の遺族、また、自分の家族等たくさんの人たちの人生をめちゃくちゃにしてしまいました。本当に飲酒運転とは恐ろしいものです。

二度とは…

現在、反省の日々を送っている私ですが、刑務所での生活の中で、運転者としての責任や自覚について、だいぶ分かってきました。

いったん失ったものは二度と帰っては来ないとは思いますが、被害者のめい福を祈りつつ、少しでも社会的な信用を取り戻すよう努力していくつもりです。

「東京交通安全協会ニュース」

「青いシグナル」より

飲酒運転を絶滅するには、何よりも運転者の自覚が必要ですが、さらに飲酒運転をさせない、許さない社会気運を盛り上げることが必要です。

「飲んだら乗るな」「飲むなら乗るな」「乗る人には飲ませるな」の三つの運動の輪を広げ、地域ぐるみで飲酒運転を追放しましょう。

二月は飲酒運転絶滅月間です

子どもの声を聞く会 (その2)

私たちの郷土、宮村



宮村小6年 野崎 美智代

宮村には、自然がいっぱい残っています。しかし、父の子供のころの話を聞くと、今と昔とは、宮村の自然は相当変わってしまったそうです。

昔、父が子供のころよく泳いでいたという萩原川は、今では水があまり流れていません。雑草がたくさんはえていて、これも川だろるかというくらいです。また、現在ではあまり見かけなくなったホタルも、二・三十年前には、庭ぼうきでいくらかでも取れるくらいに、道ばたにいたそうです。このごろ見直されてきて、少しずつホタルがふえているようですが、それでも、今と昔のようすを比べて、二十年ぐらいでこんなにまで違ってくるのかと、おどろいてしまいました。

そんな中で、郷土芸能だけは変わらないで伝えられてきました。最近、私たちが受けつぐことになった大太鼓踊りも、地区の皆さんが大切に守り育ててきた郷土芸能の一つです。

小鷲巣に伝わる「小鷲巣大太鼓踊り」は、今から四百年ぐらい前、豊臣秀吉が、朝鮮出兵をして帰ってきたときに、薩摩藩士によって伝えられたものといわれています。この「小鷲巣大太鼓踊り」を、大太鼓の踊りの部分を中心にして、「宮村小大太鼓踊り」と名前をつけ、今年から私たち宮村小の五・六年生が受けつぐことになりました。

この伝統芸能を受けつぐと聞いた時は、とてもびっくりしました。まだ一度もやったことのない伝統芸能を踊るなんて、私たちにできることだろうか心配でした。

そして、七月、いよいよ、小鷲巣大太鼓踊り保存会の皆さんに、教えてもらうことになりました。初めは、足の動かし方が、なかなかうまくできずに苦労しました。でも、何回も練習したおかげで、少しずつ足の動きがうまくできるようになり、踊りが楽しくなってきました。

一方、大太鼓踊りで使う太鼓や、

バチや背中に背負う矢旗などは、PTAの方々が集まって一生懸命に作られました。太鼓は、直径三十七センチの空き缶の両側を取って、それにビニールの袋を張って作って下さいました。また、背中に背負う矢旗は、ランドセルを五十数個集め、それに木の箱をいれて、色とりどりの旗をさしたものです。おかげで、大太鼓踊りの道具が足りるようになりました。

二期期にはいると、大太鼓踊りの練習が本格的になってきて、踊りも少しずつ踊れるようになり、踊るのが楽しくなりました。保存会の方々も、何回か指導に来て下さいました。

いよいよ運動会の日になりました。多くの方々に、胸をはって、大太鼓踊り保存会の方々といっしょに入場しました。そして、かねや歌にあわせて一生懸命に踊りました。会場の客席の前を通ると、起こる拍手がとてもうれし



三股西小6年 牛谷 千尋

私はこんな

学校生活を送りたい

「今日も笑顔でおはよう」といさつ通りで心が通う。これは、三股西小音頭二ばんの歌詞です。三股西小の校内に入ると、赤と

緑にぬりわけられた道路にアーチがあり、あいさつ通りとかかれた看板がさがっています。アーチをくぐりぬけながら、毎朝、元気なあいさつがかわされます。一日のスタートです。

私たちの三股西小は、開校して三年目になりました。花壇には、色とりどりの花がさき、木のぼりの森の木も大きくなりました。みんないちょうホールやワークスペースの使い方もすっかり慣れて、快適な学校生活を送っています。

こんなすばらしい環境の三股西小へ、私は四年生の二期に転入してきました。二年間に友達も増え、今では児童会や学級の活動にがんばっています。

昨年は、楽しい学級にするために、ラジオのチャレンジ放送局へ学級紹介の手紙を出しました。それが、シティーハンターで、おなじみの神谷さんの目にとまり、東京のTBSから取材にきて、ラジオで私たちのクラスのことを全国に放送されたのです。自分のチャレンジがもとで、クラスの仲間作りができたことが、とても良い勉強になりました。

今年は、六年生として、全校的な活動に取り組んでいます。その一つが、校内放送です。全校のみ

んなの一日の生活が、リズムカルにできるように放送で進行したり、先生方へ楽しい給食時間を過ごせるように、いろいろなテーマでインタビューしたり、めずらしいことがらを調べたりして放送しています。秋の大運動会での進行は緊張しましたが、責任を果たし終えた満足感を味わうことができました。

私たちの学校は、先生方が特別活動の研究を進められ、十一月一日には、たくさんの方々が参観にこられました。私はその時、計画委員会のメンバーとして学級活動がしっかりとできるように、司会者の人たちとアイデアを出し合いました。

二つ目の活動として、西小っ子フェスティバルや運動会で、伝統芸能の奴踊りと棒踊りに取り組みました。もともと男の人の踊りであるという、はげしい動きを男の子と同じように、力いっぱい表現しました。女の子は、小学校でしか踊る機会がありませんので、心残りがないように、声をあげ、足をあげ、踊りました。見ている方の、オーという歓声を今も忘れることができません。

私の三つ目の活動として、奉仕活動があります。開校してからの六年生がきずいてきた、進んで取も、友達に聞いてもらおう、たったそれだけのことで、ずい分と心が軽くなります。悩んでいたことが、バカみたいに思えたことさえあります。

このような友人関係ができたのも、自分を飾ることなく、本心で友達と接してきたからだと思っています。まわりに自分の長所だけ見せて、短所をかくしていたのでは、真の友情は生まれないのではないのでしょうか。

多くの友人で、このような人がいます。時々その人から、自分に



三股中3年 下石裕子

私はこんな 郷土にしたい

私は、昨年宮崎で行われた「一日ジュニア県議会」に参加し、県内の小中学生と意見を出し合いました。前日から一泊し、食事の後、それぞれ自分達の紹介をしました。「何もない所ですが緑がきれいな所なので遊びに来て下さい。」と

り組むという、すばらしい伝統をこわさないためにも、草一本でもとろうと思いい、友達と声をかけ合って活動しています。

この他にも、合唱コンクールの練習、学級の係の仕事など、たくさんあり、毎日、校内をあちらこちらへとかけ回っています。

しかし、休みの日には、他のクラスのの人たちと、広い広い運動場でボールを追いかけ合い、一心になって遊びます。一組だから、二組だからという意識はなく、また、男の子だから女の子だからという気持ちもなく、楽しく遊ぶことができます。だれとも仲良くできるのは、六年生がいつも、いろいろ

私は、こんな人になりたい

「人は人に好かれようとして、自分のいやなところをかくしてしまいが、そのようなことではいけない。自分のいやなところをむき出しにしている、あいつはいいやつだ、と言われるぐらいにならないとだめである。」

これは国語のある試験の中で、僕の心に強く響いた言葉です。人間はそれぞれが違った人格を持っているのですが、それをかくしたり、飾ったりなどして、本当の自分を

とって痛いところをつかれたり、して欲しくないことをされたりして、いやだなと思うこともあるのですが、全然憎めないのです。その人といると、明るくなるとても楽しくなるし、自分が困っている時などは手伝ってくれたりします。それに、その人を見てみると、とても自然で感じがよくて、まわりにいる人までも和やかな気分になってくれるのです。自分の短所をむき出しにしている、人には必ず長所があると云われます。この時、ぼくは改めてこの言葉を実

何かできないものか、私なりに考えてみました。例えば、つつじヶ丘や上米公園に、四季おりおりの木々や花を植えてみることにします。想像しますと、一年間が美しさを飾られ、春だけ人がたくさん集まるのではなく、いつも、行くのが楽しくなると思えます。一年中花が見られる町となれば、もっと多くの人が三股町に足を運んでくれ、活気が出てくると思います。

また、上米公園に何か遊具施設を設けてみれば、花よりダンゴの小さな子ども達も、喜んで遊びに来てくれるようになるでしょう。休日に、家にとじこもり、外で遊ばない子供が増えている今日この

ろな活動に全員いっしょになっ取り組んでいるからだと思います。

私は、三股西小学校の六年生として、いろいろなことを経験し、多くのことを学ぶことができました。私たちが、小学校で充実した日々を送れるのは、あと五ヶ月という、残り少ない時間です。その五ヶ月の間に、まだまだ、やれることがありそうな気がします。学級の活動をもっと充実させ、校内放送をもっとアイデアを出し、みんなが学級や学校の生活を楽しみ、過ごせるように、みんなの力をかりながら、がんばっていききたいと思っています。



三股中3年 川上幸弘

消してしまっはいけないということでしょう。

ぼくは中学校に入ってから次のようなことがありました。中学生になると、他の小学校から来た全然知らない人たちと同じクラスになります。その人たちと初めて接する時に、自分のどこかを飾って

感じました。僕は、自分を飾って本当の友達ができなかつた入学当初のことや、ありのままの自分を出して、とてもよい友達ができたと、どこ、中学校で体験したことをこれからもいかしていきたいと思います。そして将来は、どんな時でも、どんな人と接する時も、自分を飾らずに、ありのままに生きていく人間になりたいと思います。

ごろですが、こういう公園になれば、元気な声が緑の中から聞こえてきそうな気がします。しかし、前のような事を行って、多くの人がそこに訪れたために、空き缶やゴミが増えると困ります。人間は、立場が変わると、自分の都合のいいように変わってしまします。自分の家ではきちんとして、平気でチリを道ばたに捨てます。それでは、いくら花や木をたくさん植えても、きれいだと言えないし、せっかく来て、ゴミ等を見ても楽しくありません。そうしないためには、ゴミ箱を多く設置したり、看板を立てたりして、三股町の人全員に呼びかけていく

ことが大切だと思います。

次に、今、私が考えていることをもう一つ述べてみたいと思います。「今、高校または大学卒業後、三股町に残りますか？」と質問された時、私は、はっきり「はい」とは言えません。私と同じ意見の人も少なくはないと思います。

その大きな理由の一つは、働く場所が限られ、少ないという事です。例え、どんなにここにいたくても、生活していけないのでは、それをあきらめなくてはなりません。この事はそう簡単に解決できるものではないかもしれませんが、どうかしなければなりません。企業誘致など、町民一丸となって働きかけていく必要があるでしょう。そんな動きを少しずつ作っていくことが大事だと思います。一人の力は小さくても、皆が力を合わせた時、大きなエネルギーとなること

あなたの免許を

活かしてみませんか

ナースバンク移動相談

一、日時 3月17日 午後1時～3時
二、会場 都城保健所

詳しくは宮崎県看護協会
宮崎市学園木花台西二一四一六
☎09855(58)0622

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入手しました。ぜひ、ご利用ください。

書名 著者名

【一般向】

- 青春デンデケデケデケ 芦原すなお
- 連鎖 真保 裕一
- 闇の意匠 阿刀田 高
- 自動起床装置 辺見 庸
- 翔んでる人生 胡桃沢耕史
- 超電導ナイトクラブ 村上 龍
- いま脳死をどう考えるか 渡辺 淳一
- 窓 森村 誠一
- ロンドン塔の幽霊たち 網淵 謙錠
- ひとりで学べる簿記入門 大津 弘
- 晩年の子供 山田 詠美

- 天の園 全六巻 打木 村治
- 大地の園 全四巻 打木 村治
- 自然といっしょにあそぼう
- 一、野原はおもしろい 浜口 哲一
- 二、森や林はおもしろい 浜口 哲一
- 三、水辺はおもしろい 浜口 哲一
- 四、海辺はおもしろい 浜口 哲一
- 五、まちの中はおもしろい 浜口 哲一

【幼児向】

- おおいとんとちいさいポン 岩村 和朗
- いたいたいはとんでいけ 松谷みよ子
- カタツムリ 七尾 純
- ニヤーンといったのはだーれ 純
- ウラジミール・ステイエフ はろるどのふしぎなぼうけん
- クロケット・ジョンソン どれんここぶた
- アーノルド・ローベル ぶんぶんぶるるん
- バイロン・バートン ぼくのへやにうみがある
- マーガレット・ワイルド オリバーくん
- ロバート・クラウス



だより (第63号)

平成三年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果

次の児童生徒が選ばれました。表彰式は 二月七日(金)午後三時半 図書館で行いました。

応募作品は

- 感想文 小学校 三七六点
- 中学校 八〇点
- 感想画 小学校 九八八点
- 中学校 なし

読書感想文

小学校

- 一年特選 「ちびっこおぼけグー スーピー」を読んで 勝岡小 西 恵子
- 入選 勝岡小 北畑 舞
- 二年特選 「ピノキオ」をよんで 宮村小 桜木 政和
- 入選 勝岡小 竹之下美帆
- 三年特選 生物の消えた島 三股西小 板倉 希帆
- 入選 三股西小 青石 りえ
- 入選 三股小 山元奈緒美
- 四年特選 すばらしい努力と心 三股西小 黒木 祐美
- 入選 三股小 木佐貫智美

中学校

- 一年特選 「いちご同盟」を読んで 隈元 志織
- 入選 若松 学
- 二年特選 星からきたひと 小林 晃子
- 入選 東 直子
- 三年特選 「きつと明日は」を読んで 山元なぎさ
- 入選 餅原 弥生

佳作

- 小学校 一年 渡辺瞳(勝岡小) 西村将人(三股小) 西村徳泰(三股小)
- 二年 比嘉清美(梶山小) 中村麻衣子(梶山小) 鈴木明菜(三股西小)
- 三年 二川省吾(三股小) 木村優志(勝岡小) 河野裕美(勝岡小)
- 四年 津崎あかね(三股西小) 前野智衣(三股西小) 堂村実里(勝岡小)
- 五年 穰所真琴(勝岡小) 若松恵(三股小) 西ヶ野伸広(三股小) 上原洋一(三股小)
- 六年 野崎美智代(宮村小) 前田久実子(宮村小) 神宮司かな子(三股小) 西村修(勝岡小)

佳作

- 小学校 一年 渡辺瞳(勝岡小) 西村将人(三股小) 西村徳泰(三股小)
- 二年 比嘉清美(梶山小) 中村麻衣子(梶山小) 鈴木明菜(三股西小)
- 三年 二川省吾(三股小) 木村優志(勝岡小) 河野裕美(勝岡小)
- 四年 津崎あかね(三股西小) 前野智衣(三股西小) 堂村実里(勝岡小)
- 五年 穰所真琴(勝岡小) 若松恵(三股小) 西ヶ野伸広(三股小) 上原洋一(三股小)
- 六年 野崎美智代(宮村小) 前田久実子(宮村小) 神宮司かな子(三股小) 西村修(勝岡小)

二年特選

- 三股西小 児玉 和謙
- 三股小 下石 朝美
- 三股小 池田 佳大
- 三股西小 山中やよい
- 梶山小 筒井 利雄
- とんでる悟空と妖怪のヒーロー

三年特選

- 三股西小 崎山 拓郎
- 三股小 堀内 幸子
- 勝岡小 南畑 祐司
- やまんばのにしき

四年特選

- 勝岡小 堂村亜紀子
- 長田小 永山明日華
- 宮村小 園田 志保
- 底なし谷のカモシカ

五年特選

- 三股小 川原 幸代
- 長田小 三上美奈子
- 三股小 叶 理智子
- 対馬丸

六年特選

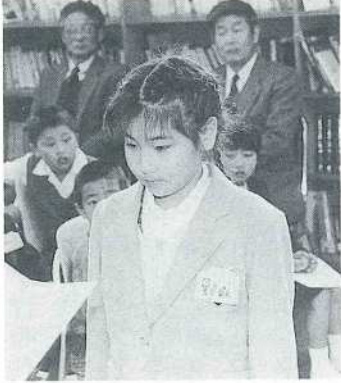
- 三股西小 永崎 智子
- 三股西小 海田 崇志
- 三股小 山元美由紀

三月のお知らせ

三月一日からの開館時間
午前九時から午後五時半まで
(火曜日は、午後一時から)

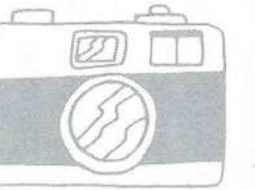
休館日

1・2・9・15・20・23・30の全日
3・10・17・24・31(火)の午前中



3年連続特選の青石りえさん

町の話題



平成四年の新春を飾る消防出初式が一月十四日、岩下橋下流の河川敷で行われ、中村修一団長以下百五十名の団員が通常点検や一斉放水を披露しました。

通常点検では、本部から七部ま各部ごとに、人員・服装・規律・

寒風について出初式

7部が2年連続優勝



通常点検を受ける第2部の団員

機械器具などの点検が行われ、全団員が真剣な面持ちで受検。その後、幼年消防隊の放水や分列行進の後、対岸に向けて一斉放水を披露。強風にあおられて、水しぶきが来賓席までかかる一幕もありましたが、色とりどりの水の放列に観客から歓声が上がっていました。

出初式の成績

優勝 七部

二位 六部 三位 四部

知事表彰

部長 小倉休幸

県消防協会長表彰

木下行春 出水勝己

野崎忠彦 桑畑良一

都城支部長表彰

優良部

第6部 部長 原口隆志(以下25名)

西村尚彦 徳丸綱秋 森 忍

町長表彰

児玉一二三 吉川勇二郎

久保博義 原田信孝

坂上敏彦 久寿米木浩

鍋倉重行 本村信夫

小牧純七 朝倉勝昭

大脇 誠 黒坂 勉

岩崎三博 中原信昭

下沖常則 川上佳浩

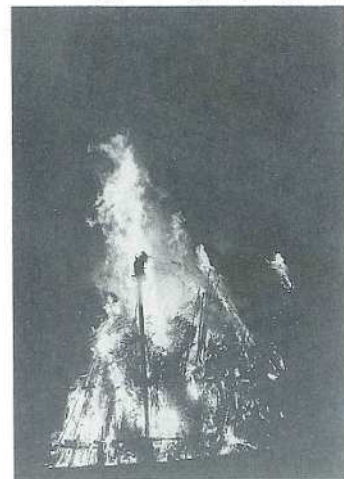
団長表彰

杉山英夫 西山雄治

小妻義和 上石 温

夜空をこがす炎

一月十九日、餅原でオネッコが四十数年ぶりに復活。餅原営農研修館北側の田んぼに用意されたオネッコに、午後七時点火。「パチパチ、バーン」と杉葉や竹がすさまじい音を立てながら燃え、火柱が立ちあがると、見物人から「オーッ」という歓声が起こりました。その後、炎を明りに、子供や女



40年ぶりにオネッコ

餅原

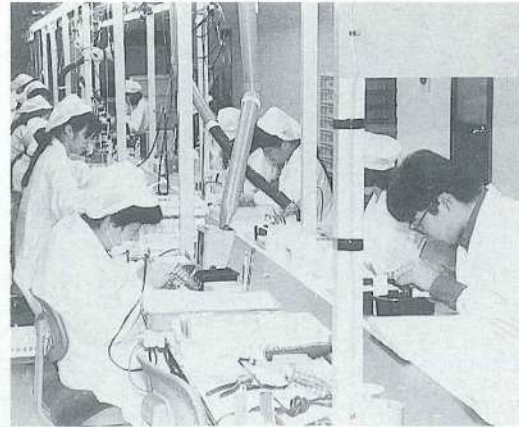
性にはせんざいが、男性にはカッポ酒が振る舞われたり、残り火を利用して餅を焼いて食べ、集落総出でオネッコを楽しみました。

谷口 護 川野 浩
高畑和博 福田綱信
中石重成 栗野正博
松野数則 小牧敏広
西村章一 中村 稔
西村賢次 福田俊秀
畑中利美 山下秋博
消防幹部特別表彰(幹部歴6年以上)
団 長 中村修一
副団長 畑中和好
部 長 上水 漸 川越流水
小倉休幸

永年勤続団員の妻
川越としえ
人命救助
横山和彦 生駒康弘
農業共済組合長表彰
第一部 第二部 第七部

愛電機が操業開始

キャノンカメラの組立



町が誘致を進めていた(有)愛電機(愛甲吉郎社長、本社小山市)の三股工場が夢池に完成、年末から操業を開始しました。

同工場は、世界的なカメラメーカー「キャノン」の組立工場。小山市とえびの市にも工場があり、三股の従業員は十八名。平成六年までには百名にする計画で、現在随時募集を行っています。詳しくは、同工場へ。

五二一八一八八

長田小家庭教育学級

しめ縄づくりに挑戦



長田小の家庭教育学級は十二月二十二日、しめ縄づくりに実施。児童や父母が交流を深めながら、各家庭二、三本程度のしめ縄をこしらえました。

翌日には、そのしめ縄の一部を利用して学校の正門前に門松を設置、道行く運転者たちの目を誘っていました。

年賀はがきで一等

お年玉年賀はがきで花見原の前之園操さんが一等に当たり、その賞品の引渡し式がこのほど三股郵便局で行われました。

一等賞品は、衛生放送受信回路内蔵型AVテレビで、町内で一等が出るのはめずらしいとのこと。

視覚障害者に「声の広報紙」

目の不自由な人に声の広報紙をと、都城東高校の青少年赤十字クラブ(顧問、福元達郎教諭、部員二十五名)は、毎月「広報みまた」をテープに録音、都城市の点字図書館を通じて視覚障害者に届けており、利用者に大変喜ばれています。これは町視覚障害者福祉会(馬渡四郎会長、会員十八名)の要望に応え、昨年五月から行っているもの。本紙が発行される



たびに、生徒が分担ページを決め、写真の説明などを加えながら朗読し録音。点字図書館でダビングされた後、それぞれの視覚障害者に郵送されています。現在、テープを利用している視覚障害者は十名で、町政の動きや町内の出来事などがよくわかるようになったと大好評。生徒たちも、更によいテープづくりがしたいと頑張っています。なお、福祉会会員でなくても、テープが利用できます。希望される方は、馬渡四郎さん。または役場広報係まで。

